



キャベツひと玉の
値段に敏感でありたい

目黒区議会議員
橋本しょうへい
区政レポート



ホームページ
(公式)



Twitter

Vol. 24
2022.12.18発行

橋本しょうへい事務所
〒153-0065
目黒区中町2-2-16-201
Tel 080-5090-2560
Mail info@shohel.tokyo

ベビーシッター利用支援



写真はイメージ。フリー素材を利用。

助成制度 スタート

「ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)」として、ベビーシッターの利用料金に対して助成金が出ることになりました。

保護者の残業や病気、学校行事への参加などでお子さんの面倒が見られない時や、家にいるもののベビーシッターさんが一緒にいてくれると嬉しいという時にも、お子さんが小学校に上がる前であれば夜間でも対象です。

(1)補助上限時間(年度あたり)

児童一人につき→144時間

多胎児の場合は児童一人につき→288時間

(2)補助上限金額1時間あたり

日中利用(7時~22時) 2500円上限

夜間利用(22時~翌7時) 3500円上限

※入会金や会費、オプション料は対象外

詳細はリンク先、または目黒区保育課
保育係(☎ 03-5722-9865)まで。



www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/kosodate/josei/babysitter_itiziazukari.html

窓口手続き、ササッと

ワンストップの「おくやみコーナー」開設

ご家族が亡くなると役所で数多くの手続きが必要ですが、11月1日からは「お悔やみコーナー」の開設で、手続きの手間が大きく減ります。3営業日前までに連絡をすれば、区役所が一部の申請書等への氏名・住所の印刷や、保険証等の受領をまとめて行います。対象となる手続きの数は一括印刷が15、書類の受領が12にも及びます。役所の手続きをもっと便利に、と言い続けてきた(詳細はVol. 12や13をご参照)ので、嬉しい改善です。

高尾山で学ぶ不登校対策

東京若手議員の会の勉強会

11/2(水) 八王子市の不登校特例校「八王子市立高尾山学園小学部・中学部」を視察してきました。学校に登校しない、または登校したくてもできない児童・生徒のための公立学校。都内には八王子市の他に大田区、世田谷区など、5校があります。



時数軽減、厚い支援が特徴。

時数軽減及び柔軟な教育課程という点や、教員以外にも指導補助員やスクールソーシャルワーカー、大学生の学校サポーター等、多くの大人の手助けと共に運営されています。転校してきた時に不登校だったとは思えないくらい、元気に挨拶する子どもが多かったことが印象的でした。実際に卒業後の進学率は95%以上で、高校進学者の1年後の在籍率は85%以上。「大人の手をかければあれだけ元気になる」という校長先生の言葉には、力がこもっています。



黒沢校長、民間出身は珍しい。

なお、廃校跡地の活用という点では目黒区の旧第2中学校跡地を活用した「めぐろ学校サポートセンター」も同様で、「めぐろエミール」で不登校児童・生徒が集中して学習に取り組むための個別学習の部屋や、児童生徒がレクリエーションや一緒に勉強することができる部屋などを確保しています。不登校児童は全国的に増えており、令和4年度には目黒区でも中学校では25人に1人以上の割合に及んでいます。目黒区で同様の施設を作るのはなかなか難しいとは思いますが、不登校対策に対しての考え方や施策について、学びの多いひとときになりました。

災害対策、多様性尊重

一般質問ではこのテーマで尋ねました。



本会議の様子は役所で映像が流れる

9/6(火)~30(金)で行われた目黒区議会第3回定例会では、本会議での一般質問、決算特別委員会、企画総務委員会での補正予算の審議など、多くの質問の機会がありました。特に一般質問では東京都の動きに目を向けて

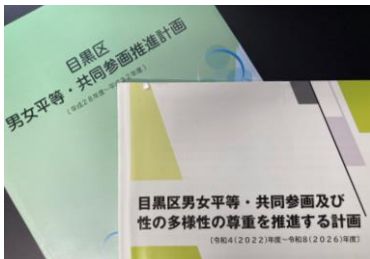
- ①首都直下地震での被害想定について
- ②目黒区での性の多様性尊重についての2点について質問しました。

①の首都直下地震については、東京都でこれから防災計画が策定された後に目黒区でも地域防災計画が改訂されることとなります。建物の耐震や延焼の防止といった対策は少しずつ進んでいても、交通インフラやライフライン(電気や水道など)の断絶、遺体や廃棄物の処理などへの対策はこれから。また、私が議員になる前に災害ボランティアで訪れた南相馬市(東日本大震災)や岡山市真備町(西日本豪雨災害)では自治体間での対応力の差も目の当たりに。今回の質問では目黒区の初動体制が改善されるとの答弁。今後の状況に注目したいです。



道の脇の災害ゴミやガレキは成人男性の身長以上(岡山市真備町)

②の性の多様性尊重については性の多様性の理解促進や、性的指向及び性自認に基づく困難等の解消について区の所見と今後の課題について尋ねました。区営住宅の入居や、区役所職員の福利厚生要件として同性カップルでも可能となるように準備を進めているということも窺えました(※区営住宅の入居は実際に今年度の募集から可能に!)。質問の詳細は、[議事録](#)や[中継の録画\(QRコード\)](#)



性の多様性の尊重は、目黒区の新しい計画(右下)のタイトルにも反映された

をご覧ください。

時代に合った区政運営を

会派を通じ、区長へ来年度予算要望提出



要望書、会派から区長へ

10/17(月)私が所属する会派「フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会)」から区長へ、来年度の予算要望を提出しました。役所の各部署や議会の各会派からの要求や要望が出され、予算案がまとめられた後に、来年2月から始まる令和5年度第1回定例会で審議されていきます(傍聴する場合は、右下の日程をご覧ください)。

アフターコロナの社会を見据えて区の職員の皆さんには失敗を恐れずに挑戦して欲しいというメッセージを込め、多岐にわたる項目を盛り込みました。私からの要望は主に以下のような内容です。予算の審議前に、皆様の多彩なご意見を頂けたら幸いです。

- ・LINEでのセグメント配信により、相手に合わせた情報発信を。
- ・祐天寺街づくりでは幅広い住民や事業者の声に耳を傾けること。
- ・小中学校でのiPad利活用、教職員の負担軽減と質の向上を。
- ・中学校の部活動の地域移行、早急に方針を固めること。
- ・区有施設でのWi-Fi整備、住区センター以外にも広めること。
- ・ICT化の推進で、人にしかできない企画や相談業務に集中を。
- ・制度の狭間で困りごとを抱える方への支援を充実させること。

目黒区議会の今後の主な日程

12月23日(金)	特別委員会	10時~
1月5日(木)	予算説明会(非公開)	13時~
1月11日(水)	企画総務委員会	10時~
	生活福祉委員会	10時~
	都市環境委員会	10時~
	文教・子ども委員会	10時~
1月27日(金)	特別委員会	10時~
2月8日(水)	企画総務委員会	10時~
	生活福祉委員会	10時~
	都市環境委員会	10時~
	文教・子供委員会	10時~
2月16日(木)~22日(水)	本会議(平日のみ)	13時~
2月24日(金), 27日(月)	企画総務委員会	10時~
	生活福祉委員会	10時~
	都市環境委員会	10時~
3月1日(水)	文教・子供委員会	10時~
	特別委員会	10時~
3月7日(火)	本会議	13時~
3月8日(水)~16日(木)	予算特別委員会(平日のみ)	10時~
3月22日(水)	本会議	13時~

目黒区議会議員 橋本しょうへい プロフィール

1989(平成元)年6月6日神奈川県生まれ 埼玉県立熊谷高等学校、明治大学政治経済学部卒
 (株)ダイエーを経て手塚よしお秘書 2019(令和元)年目黒区議会初当選 双子の兄弟
 <所属>企画総務委員会、情報公開・個人情報保護審議会、環境審議会、区議会情報公開審査会
 <趣味>空手(和道流、松濤館)、スキー <特技>手話 <好きな言葉>温厚篤実、一意専心
 <好きなもの>みかん、麻婆豆腐、クラフトビール <尊敬する人>渋沢栄一、後藤新平